

クラス番号	916	ゼミタイプ	エクスカッション型
		担当教員名	伊藤 文人
テーマ	グローバル・ソーシャルワークの世界を見てみよう！ ー台湾（・香港）のソーシャルワーカーたちと交流をしませんか？		

ゼミナール概要

【ねらい】私は個人的に海外のソーシャルワークとの関係をこの10年間で深めてきました。この間に関わった国々は、イギリス、アイルランド、スペイン、フィンランド、イタリア、クロアチア、スロベニア、ドイツ、ポーランド、モルトバ、ハンガリー、アメリカ合衆国、カナダ、香港、台湾、マカオ、中国（香港周辺）など、欧州、北米、東アジアなどに拡がり、彼の地の人々へ日本の課題を伝えてきました。最近では、特に香港と台湾のソーシャルワーク関係者との研究会や実践交流を定期的に積み重ねています。このように、社会福祉やソーシャルワークの世界は日本だけのものではありません。世界のソーシャルワークは、それぞれの国や地域の政治・経済・文化的背景や、そもそもグローバルな世界システムとの関係によってあるところでは独自性を発揮しつつも、あるところでは共通性を持つ特徴があります。本ゼミでは、社会福祉やソーシャルワークの国際比較に関心のある学生たちと共に、日本と世界のソーシャルワークの成り立ちや現在の諸課題の比較を行い、海外でのフィールドワーク（主に台湾）にも挑戦しながら、相互理解と交流に貢献していきます。

【授業計画】

①グローバルズムがどのような意味で世界的な影響を持つのか？特に社会福祉やソーシャルワークとの関係を学習する。②各グループの問題関心に沿って、各国のソーシャルワークの課題を日本のそれと比較する。③学内の留学生をゼミに招待して、それぞれの国の社会（福祉）について語らいながら、文化交流も行う。④国内で開催されている海外との交流を積極的に行っている事業や団体を訪問する。⑤台湾（や香港）の関係者とフィールドワークについて相談しつつ、その実現性を探る。⑥最低限の英語や中国語の学習を行う。

【現役学生の声】

みなさんは大学に入学してから現在に至るまで、大学への理想と現実のギャップに打ちひしがれたことはありませんか？「私が思っていた大学はこんな場所じゃない！！大学とは、～な所であるべきだ！！」と思ったことはありませんか？私は何度もあります。そしてその度に「現実はこのものだ」「私だけではどうしようもない」と、諦めていました。しかしこのゼミナールを通して、「集団の力」を学びました。一人でできないことが、集団なら実現することができます。私はそんな仲間たちと出会いました。伊藤ゼミは、良くも悪くも学生主体のゼミです。いいも悪いもみなさん次第です。運営は少し大変ですが、必ずいい経験になります。台湾研修や通年のゼミを通して読む力、書く力、話す力は必ず底上げすることができます。

伊藤先生は、いろいろなことに一生懸命に頑張る学生を応援してくれます。学習にはちょっと厳しいけど、先生の話や課題をやることで、きっと何かをつかめるはずですよ。これは保証します。台湾への行く際は、私たち先輩有志がメンターとして同行する予定です。その時に会えることを楽しみにしています。

担当教員からのメッセージ

「世界は広く多様だ」。これが19年前に英国大学院に留学してビビットに感じたことです。その当時、日本はまだ豊かな国でしたから、「アジアからの留学生」といったら日本人を指していました。しかし、それから15年経って再び英国に留学したら、「アジア人＝中国人」に変わっていました。これがグローバリゼーションの一つの帰結です。この数年は特に香港と台湾の関係者と学習する機会が増えたので、地理的・文化的にも近い学生たち同士が交流して学びあう経験できたら、どれほど楽しく有意義なことでしょうか！

海外フィールドワーク（選抜制になりますのでご注意ください）は、台湾で実施したいと思っていますが、3泊4日という最短コースでも最低6万円（旅券代は除く）のコストがかかります。海外の社会福祉／政治経済文化に関心を持ち、語学学習も厭わず、なおかつ自律的に動いて企画立案をみなと協力しながら積極的に行いたいと思っている学生諸君の参加をお待ちしております。